

令和3年3月10日

保護者の皆様
地域の皆様

さくらの学び舎 世田谷区立笹原小学校
校長 後 藤 真 司

令和2年度 学校改善策についての結果報告

令和元年度の学校関係者評価結果を受け、令和2年度は次の視点で学校改善を進めてきました。3つの重点目標及びその他の取組について、その結果についてご報告申し上げます。

1 重点目標1：「自ら主体的に考え、探究的・体験的な学びを通して、適切に判断し、表現する子どもを育てるとともに、学力の向上を図る。」

●具体的な子どもの姿

『「めあて」をもって学習し、『振り返り』を次の学習に生かそうとしている。』

◆新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導を行い、新しい教育の取組「せたがや11+」の実現に向け、子ども一人一人のキャリア形成を図るための支援、主体的・対話的で深い学びにつながる支援等を大切にしてきました。知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度、そして、子どもたちが豊かな人間形成を図れるよう、子どもたちの育成に務めました。

◆重点目標の達成に向けて、下記の内容について取り組みました。

○「めあて学習」を充実し、見通しをもって学習活動に取り組めるようにするとともに、自分の学習を「振り返る活動」を計画的に位置付け、次への関心や意欲を高める授業を進めました。

○「繰り返し学習する内容」や「発展的に学習する内容」を子どもの実態に応じて取り入れ、基礎・基本の定着と学習意欲の向上へつなげました。

○各教科・領域で「ことばの力を高める言語活動」を取り入れました。

○算数科で、3年生から6年生までは、算数少数指導担当教員が加わり、学級数+1のグループ編成で、全単元・全時間で習熟度別の授業を行い、また1年生・2年生では、講師が学級授業に加わり学級担任とのTT体制で授業を行いました。子どものニーズに応え、一人一人の学力の向上を図るとともに、個別学習や協働学習を通して、自ら考え、判断し、友達と交流し、表現する活動を通して、自ら問題解決に取り組む学習を進めました。

○改修・移転工事を実施し、学校図書館司書（新規民間委託業者）と連携・協働し、学校図書館を「読書」「学習」「情報」の3つのセンター機能面から整備しました。2・3学期には読書週間を設け、本に親しみ、読書活動に取り組み、ことばの力を高める支援を進めました。

○子どもたちが学習への興味・関心を高め、学習内容の理解を深められるよう、ICTを効果的に利活用し、言語活動を充実させ、子どもたちの個別学習・協働学習・一斉学習を支援しています。また、タブレット型端末の導入に伴い、3年生以上で操作方法や学習での活用について指導し、今後の1人1台のタブレット型端末を活用した学習に備えています。

○校内研究では、新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現と教員の授業力向上を目指し、生活科・理科を研究教科に位置付け、研究を進めました。

◆「めあて学習」については、教師が「めあて」を提示したり、子どもたち一人一人が自分の「めあて」を設定したりして取り組み、「振り返り」を行うことで学習の状況を見つめ、次の学習につ

なげようとする姿が見られるようになりました。12月に実施した子どもの自己評価では、「よくあてはまる」「あてはまる」と90%が肯定的な評価をしています。今後も、主体的な学びにつなげ、思考力・判断力・表現力を育むため、「めあて学習」を進めていきます。

2 重点目標2：「自らすすんで運動する子どもを育て、体力の向上を図る。」

●具体的な子どもの姿

「すすんで体を動かして遊んでいる。」

◆世田谷区立小中学校全校で、体力向上と健康推進に向けた「世田谷3快プログラム ～快眠・快食・快運動～」の取組が進められています。本校では、現在取り組んでいる体力向上と健康推進における特色ある教育活動をより一層充実させ、すすんで体を動かす運動や遊びとともに、食事や睡眠との関連を図りながら取り組んでいます。新型コロナウイルス感染拡大のため臨時休業期間が続き、再開後も様々な制約が続いています。感染対策を講じながら工夫を重ね、運動や遊びの機会を設けてきました。

◆重点目標の達成を目指して、下記の内容について取り組みました。

○3密を回避し運動する機会を確保するため、休み時間や元気タイムの活動場所（校庭・体育館・屋上）を学年ごとに割り振り、最大限に活用しました。

○9月から「元気タイム（月1回）」を設定し、学年や学級の友達とともに運動や長縄跳びをみんなで楽しみ、元気いっぱい体を動かしました。

○長縄跳び週間・短縄跳び週間を設け、めあてをもって運動に親しみ、挑戦する楽しさや達成する楽しさなどを体感し、運動の日常化と意欲につなげました。

○学級遊びや縦割り班遊びなどを取り入れ、自分たちで遊ぶ・運動する機会をつくり、すすんで体を動かし、運動に親しむ取組を進めました。

○体育学習では、感染対策を講じ、運動内容と運動量を考慮しながら取り組みました。

◆「すすんで体を動かして遊んでいる」と肯定的な回答をした子どもの割合は91%で、コロナ禍の中、すすんで体を動かそうとしている子どもが多く、大変好ましい傾向が見られました。今後も、友達とかかわり楽しみながら運動や遊びを行い、体を動かす機会を意図的につくっていきたいと考えています。

3 重点目標3：「幼・保・小・中及び家庭・地域社会と連携・協働し、地域とともに子どもを育む」

●具体的な子どもの姿

「元気よく友達や家族、地域の方々や教職員にあいさつをしている。」

◆「豊かな人間性」を育むため、相手を意識した「あいさつ」を通して、コミュニケーション能力を高め、相互尊重や望ましい人間関係を構築し、社会性を育む取組を進めてきました。

◆重点目標の達成を目指して、次の内容について取り組みました。

○年度当初の「あいさつ週間」の計画を見直し、9月から毎月1週間の「あいさつ週間」を設け、担当学年を割り振り、標語づくりやあいさつキッズとしての活動に取り組みました。

○全教職員も、すすんで明るく元気で爽やかなあいさつを率先して行いました。

○感染対策のためのマスク着用を考慮し、大きな声ではなく、心を通わせるあいさつ、気持ちのよいあいさつをすることを学校全体で心がけ、あいさつの日常化にも取り組みました。

○昨年度からの取組『ふわふわ言葉』を大切にしよう』を継続し、相手を思いやることばを通し

て、「思いやりのある子ども」の育成に力を入れ、あいさつとの関連を図りました。

- ◆「元気で友達や家族、地域の方々や教職員にあいさつをしている。」と肯定的な回答をした子どもの割合は95%で、地域の方々からも、気持ちのよいあいさつをしてくれているとの声も届いています。「あいさつ週間」後に、全校で一人一人が「振り返り」を行ったこと、学期に1回の取組を毎月に変更して取り組んだことで、あいさつに対する意識や自主性が育ってきたと考えられます。来年度も毎月「あいさつ週間」を設定し、「振り返り」を通して自主性や意欲を高め、日常化を図っていきます。また、相手とのコミュニケーションの第一歩であることを受け止めさせ、相手を思いやることのできる子どもたちの育成につなげていきます。

4 まとめ

- ◆今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、前年度3月からの臨時休業期間が3か月続きました。6月からは分散登校が始まり、6月22日から通常の授業が始まりましたが、感染対策のための新しい生活様式の中での学校生活となり、様々な制約、授業時間の確保、未履修内容への対応など、教育計画を大幅に見直すことになりました。
- ◆子どもたちが楽しみにしていた校外学習や川場移動教室・日光林間学園は中止となり、その他の教育活動も延期や実施方法の変更による対応を行うことで実施してきました。10月末に開催した運動会では、時間や競技・演技内容を見直して実施しました。また、日常の学習活動でも、様々な制約がある中でしたが、今できること・今しなければならないことを確認し、創意工夫を重ね、教育活動を進めてきました。
- ◆特色ある教育活動の1つである「笹の子班活動」では、活動の回数は計画より減りましたが、異年齢集団活動のよさと成果が発揮され、子どもたちに所属感や連帯感、思いやりや協力の心を育むことができました。特に、12月に開催した「笹の子まつり」では、感染対策を講じる中、6年生がリーダーシップを発揮し、みんなで協力して楽しく達成感と充実感を味わうことができ、思い出に残る取組になりました。
- ◆前年度の学校関係者評価委員会報告書で「気になる学年」として指摘のあった学年は、子ども一人一人の成長と最高学年としての自覚や責任感が大いに見られた、との所見をいただきました。コロナ禍において学校生活では様々な制約があり、学校行事や校外学習が中止や変更となりましたが、そのような状況の中、よりよい学校生活を送ることができたと受け止めています。また、学校運営・学校経営においても、学校運営委員会をはじめ保護者・地域の皆様に支えていただき、学校づくりを進めることができました。
- ◆今後も、新たに始まった教育活動等に関する周知、子どもの思いや願いを受け止め学習指導や生活指導に活かす積極的な取組、また、「共に子どもを育てる」視点での保護者・地域との連携など、創意工夫を重ね、信頼と誇りのもてる学校づくりに取り組んでいきます。

◎何より、子どもたちにとって「楽しい学校」「安心して過ごせる学校」であることを最優先に教育活動を進めました。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をいただき、一日一日を大切に、子どもたちが元気に過ごすことができた1年間でした。感謝申し上げます。
ありがとうございました。